



校長室より



令和7年12月10日

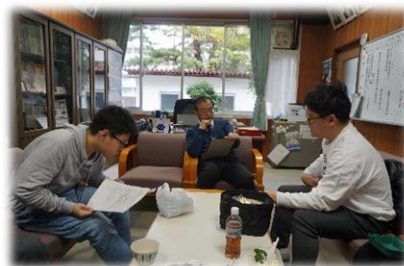
自分らしく生きる 豊かに生きる

No.31

生徒会が学校運営協議会に参加しました

12月9日（火）、第3回学校運営協議会が開催されました。本校では、学校運営協議会を「Team shiyora(しよら)」と呼んでいて、年4回ミーティングを行っています。今回は9名全員の委員とオブザーバー参加の方々、本校教職員に加えて、生徒会役員の4名がミーティングに参加しました。最初に、生徒会長より11月に生徒会主催で行った松林清掃活動の報告がありました。古い空き瓶や空き缶が、林の中に埋められていて、今回それを掘り起こしてごみを集めるのに苦労した話に聞き入ってしまいました。特に、ハビ（和歌山弁でマムシのこと）やムカデが出てきて、怖かったという話は衝撃的でした。

次に、生徒会より11月25日に行った校長とのランチミーティングの中で話し合った「より良いみはまにするために」の意見や要望を伝えてくれました。煙樹ヶ浜を盛り上げるイベント企画、暗い松林を照らすライトアップ計画、ドローンなどの資格が取得できる構想、保護者で飲食店等をされている方を学校に講師として招く企画、朝の弱さ克服や体力づくりをねらった「朝活」の導入、個々の挑戦を伝え共有するための「チャレンジボード」の設置など、どれも前向きな意見ばかりです。



これらの報告を受け、生徒会のメンバーも含めて、学校運営協議会の委員さんたちと意見交換し、今後できそうなことを話し合いました。全員が本校のことや美浜町のことを考えながら一つになっていて、本当に楽しい時間でした。本校の看板が小さくてわかりにくいことや松林内が暗いことの問題から派生した意見は、早期に実現できるように進めたいと思いました。また、美浜町にはまだまだ謎めいているスポットや魅力がある所があるので、みはま探究のグループでも調査してほしいところです。「みはまウォーク」「美浜町検定」などの企画は、地域ぐるみで取り組んでいけたら盛り上がると思いました。



今回のように、生徒たちや地域の方々からの意見を取り入れながら、魅力的な学校づくりを続けていけば、素晴らしい学校になること間違いなしと感じました。